

1. 研究課題名

当センターで治療した梅毒合併妊娠 5 例

2. 試料・情報

(1) 利用目的

近年梅毒患者は増加しており、梅毒合併妊娠では児の先天感染など周産期リスクが懸念されます。本研究は、当院で治療した梅毒合併妊娠の社会的背景および周産期合併症の実態を明らかにすることで、今後の診断や治療の一助とすることを目的としています。研究期間は承認日から 2026 年 3 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2020 年 1 月から 2024 年 12 月の間に当院で分娩し、妊娠中に梅毒感染が判明した症例を対象として、診療録を利用して行います。利用する情報は、妊娠・分娩経過、検査結果の推移、治療経過、児の出生時状態などで、利用は本研究が承認された日から 2026 年 3 月 31 日までです。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 産婦人科 市川晴菜（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 産婦人科 市川晴菜、有馬香織